

Buddycom、「スタートダッシュプログラム」を 2026 年 2 月より提供開始 導入から定着・運用まで伴走し、現場 DX と企業成長を同時に加速

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 竜太郎）は、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」の導入企業を対象に、導入から定着・運用までを支援する「スタートダッシュプログラム」を 2026 年 2 月 1 日より開始いたします。

本プログラムでは「導入支援サービス」「運用代行サービス」「研修サービス」の 3 種類のサービスを提供し、企業の DX をより簡単に、より早く実現できるように支援を行い、Buddycom の機能を最大限に引き出すことで、現場の生産性向上に貢献します。本サービスを通じて、企業の現場 DX をより確実に支援しながら、顧客との関係を継続的・長期的に育み、当社の成長戦略の中核を担う新たな価値提供モデルとして、持続的な企業成長と顧客価値の向上を両立してまいります。



① 導入支援サービス

お客様の運用要件に基づいた、利用設計・グループ構成・初期設定・管理者研修を実施し、スムーズな導入を実現。大規模導入時など、運用開始までの初期設定を支援するサービスになります。

② 運用代行サービス

日々発生する Buddycom コンソールの設定変更や利用ログの抽出、定期レポート作成を代行し、現場の運用負担を軽減。例えば、鉄道会社様でダイヤ改正に伴うグループ所属ユーザーの変更、自治体様で人事異動に伴うユーザー設定変更など、定期的に発生する業務を代行するサービスになります。

③ 研修サービス

利用者・管理者向けオンライン研修を開催し、活用スキルを定着化。

「Buddycom アプリの基本的な使い方」、「管理者の方へ Buddycom コンソールの使い方」など、対象者に応じた研修メニューをご用意しております。

各サービスの詳細や料金内容については、お問い合わせいただいている販売代理店までお問い合わせください。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「フロントラインワーカーに未来の DX を提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションとして掲げ、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発・販売を行っております。2021 年に東証マザーズに上場（現在はグロースに移行）し、現在では 5 年連続シェア No.1[※]を獲得しました。今後も、スタッフ間コミュニケーションに留まらず、スタッフとお客様、スタッフと AI を美しくつなげることで、フロントラインワーカーが明るく笑顔で働ける社会を目指してまいります。

※音声（映像）コミュニケーションツール出荷金額・社数（ノンデスクワーカー向け）デロイト トーマツ ミック経済研究所「デスクレス SaaS 市場の実態と展望 2025 年度版」

Buddycom について（ <https://buddycom.net/> ）



フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報（IoT）に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。利用実績は、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種にわたり、コミュニケーション手段として活用されています。

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2-5 MFPR 渋谷ビル 5F

【代表取締役社長】 平岡 竜太郎

【資本金】 4.5 億円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://science-arts.com/>